

平成18年
11月29日

病害虫発生予報 12月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

5月29日から全ての農作物に残留農薬基準が設定されました！！

薬剤散布の際は周囲への飛散に十分注意しましょう

< 目 次 >

．今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ：うどんこ病	1
促成ピーマン：アザミウマ類	1

【その他の病害虫】	2
イチゴ，促成ピーマン	

．病害虫ミニ情報

農薬登録速報（10月）の概要	2
イチゴのうどんこ病について	4

．今月の気象予報

5

．テレホンサービス

5

029(226)5321, 6131

農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用基準，注意事項等を確認してください。

詳しくは，病害虫防除所へお問い合わせ下さい。
茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445
予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・今月の予報
【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

11月下旬現在，発病果率は平年より高く，発病葉率，発生地点率は平年並である。

[防除上注意すべき事項]

罹病した葉や果実などは，ハウス内に放置せずにハウス外へ持ち出し，土中深く埋める。果実に発生すると被害が大きくなるため，防除を徹底する。特に「とちおとめ」は，うどんこ病に罹病しやすいため，注意が必要である。

薬剤は，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。

薬剤耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。またミツバチ導入後は使用できる薬剤に限られるため注意する。

促成ピーマン

1. アザミウマ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	多い	鹿行地域

[予報の根拠]

11月下旬現在，寄生花率，発生地点率とも平年より高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は高く，ハウス内は発生を助長する条件となる。

[防除上注意すべき事項]

生息密度が高くなると果実に被害を及ぼすため，発生の少ないうちに防除を徹底する。

薬剤抵抗性の発達を避けるため，同系統薬剤の連続散布は行わない。また，薬剤の選択に当たっては，収穫前日数等に注意する。

薬剤散布の際は，周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意して行うこと。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	コナジラミ類	発生量：平年並 ～やや多い	11月下旬現在，平年並～やや多い発生である。
促成ピーマン	うどんこ病	発生量：平年並	11月下旬現在，平年並の発生である。
	斑点病	発生量：平年並	11月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。向こう1か月の降水量は多いと予想され，発生を助長する条件となる。
	タバココナジラミ類	発生量：やや多い	例年は発生を認めないが，11月下旬現在，幼虫・蛹の発生を確認している。向こう1か月の気温は高いと予想され，発生を助長する条件となる。

・病害虫ミニ情報

農薬登録速報（10月）の概要

平成18年10月期間中（10/1～10/31）に新規・変更登録のあった農薬は，以下のとおりです。なお，農薬の使用にあたっては，必ずラベル等を確認してください。

殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・殺そ剤等

新規> GFオルトランC，GFオルトランS，STアブロードパダン粒剤，STダコグリーン，STダコレート水和剤，STパダンバッサ粒剤，STバリダボルドー粉剤DL，STビームエイトゾル，アースガーデンC，ウララ50DF，ウララDF，デランフロアブル，ワイドナーエース粉剤DL，家庭園芸用GFオルトラン水和剤，協友サイアノックス水和剤，協友サイアノックス乳剤，協友スミチオンMC，石原チリガブリ
 変更>〔DIC〕ベフラン液剤25，Dr．オリゼスタークル箱粒剤，アクタラ顆粒水溶剤，アディオン乳剤，アミスター20フロアブル，アミスターオブティフロアブル，あめんこ100，アルバリン箱粒剤，インダーフロアブル，エコピタ液剤，エコファイターフロアブル3，エコワン3フロアブル，オンコルマイクロカプセル，オンリーワンフロアブル，カウンター乳剤，クミアイストライド顆粒水和剤，クミアイダイアメリットDF，クミアイダコニール1000，クミアイベフラン液剤25，クミアイマイクロデナポン水和剤85，グリーンベイト，クルーザーFS30，クロピクテープ，サーガ水和剤，サンケイアディオン乳剤，サンケイベフラン液剤25，サンヨール，サンヨール液剤AL，スカウトフロアブル，スタークル箱粒剤，スターナ水和剤，ストライド顆粒水和剤，スプラサイド水和剤，ダイアメリットDF，ダコニール1000，チェス顆粒水和剤，ツインメート乳剤，ナガセラービン水和剤75，ハース・サーガ水和剤，パロックフロアブル，フォリオブラボ顆粒水和剤，フローバックDF，ベフラン液剤25，ベルコートフロアブル，ホクコーDr．オリゼスタークル箱粒剤，ホクコーアディオン乳剤，ホクコーオンリーワンフロアブル，ホクコースタークル箱粒剤，ホクコーデナポン水和剤50，ホクコーマイクロデナポン水和剤85，ホクコーラブサイドトレボンゾル17，ポリオキシシンAL水溶剤「科研」，マガンカウンター乳剤，マッチ乳剤，マネージトレボン粉剤DL，ヤシマアディオン乳剤，ヤシマスターナ水和剤，ヤシマベフラン液剤25，ヤシマブリックナック水和剤，ヤシママイクロデナポン水和剤85，ラービフロアブル，

ラービン水和剤 75, ローヌ・プーランデナポン水和剤 50,
ローヌ・プーランマイクロデナポン水和剤 85, 安全スネック, 協友ベフラン液剤 25,
兼商ストライド顆粒水和剤, 三井東圧アルバリ箱粒剤, 三共アディオ乳剤,
三共スカウトフロアブル, 三共デナポン水和剤 50, 三共フロンサイドSC,
三共ベフラン液剤 25, 三共マイクロデナポン水和剤 85, 三明マイクロデナポン水和剤 85,
三明ラービン水和剤 75, 石原フロンサイドSC, 日産マイクロデナポン水和剤 85,
日曹スカウトフロアブル, 日曹フロンサイドSC, 日農デナポン水和剤 50,
日農マイクロデナポン水和剤 85, 武田ダコニール 1000, 粉末ラテミン,
明治Dr.オリゼスタークル箱粒剤

除草剤等

新規> SDSシロノックHジャンボ, ウィードキラー粒剤, シロノックHジャンボ,
ネコソギトップX粒剤, バイエルライジング1キロ粒剤 75, フィールドスター乳剤,
フルスロット顆粒水和剤, ボランティアジャンボ, 協友マメットSM粒剤,
三共シロノックHジャンボ
変更> BASF大豆バサグラン液剤(ナトリウム塩),
JAミスターホームランドLジャンボ, JAミスターホームランドLジャンボ,
SDSダッシュワンプロアブル, SDSテラガード250グラム,
SDSプレッサフロアブル, STトレファノサイド乳剤, イノーバDX1キロ粒剤 75,
エリジャンジャンボ, ガリル水和剤, クサトツタ粒剤, ゴーゴサン細粒剤F,
ゴーゴサン乳剤 30, サスケ-ラジカルジャンボ, スコリテック液剤,
スピンプロアブル, ダッシュワンプロアブル, テラガード250グラム,
トクヤマスピンプロアブル, トレファノサイド乳剤,
バイエル イノーバDX1キロ粒剤 75, プレッサフロアブル,
ホームランキングLフロアブル, ホームランキングフロアブル,
ホクコーダッシュワンプロアブル, ホクコーハチクフロアブル,
ホクコープレッサフロアブル, ホクコーホームランキングLフロアブル,
ホクコーホームランキングフロアブル, ホクコーミスターホームランドLジャンボ,
ホクコーミスターホームランドLジャンボ, ホクコーミスターホームランドLフロアブル,
ミスターホームランドLジャンボ, ミスターホームランドLジャンボ,
ミスターホームランドLフロアブル, モンサントラッソー乳剤, ラッソー乳剤,
ローヌ・プーランガリル水和剤, 科研スピンプロアブル, 協友ボス1キロ粒剤,
三共イノーバDX1キロ粒剤 75, 三共ザーベックスDX1キロ粒剤,
三共スラッシュ粒剤, 住友化学大豆バサグラン液剤(ナトリウム塩), 日産ラッソー乳剤,
日農ラッソー乳剤, 武田トレファノサイド乳剤

その他

変更> コンフューザーN, コンフューザーV

失効農薬

T-7.5グリーンA油剤, T-7.5グリーンB油剤,
アブロードパダンバリダ粉剤DL, イッツDDVP50%乳剤,
クミアイザークA1キロ粒剤 36, クミアイスマチオン粉剤 2DL,
クミアイブルーク水和剤, サンケイフライサイドD,
シオノギ・アフアーム乳剤, シオノギ・ラービン水和剤 75,
ナガセラービンベイト2, ナガセラービン水和剤 75,
バイエルザークA1キロ粒剤 36, バイエルバジノン粒剤 6,
ヒノバッサ粉剤DL, ヒノラブモンセレンオフナック粉剤 35DL,
フジモンアブロードF粉剤DL, ブッシュロン粒剤,
フライトラップ-D, ブルーク水和剤, ヤシマオフナック乳剤,
ヤシマスミロディー水和剤, ヤシマバイスロイドEW, ヤシマバイスロイド乳剤,
ヤシマヒノラブマラバッサ粉剤 35DL, ヤシマフジワンスミチオン粉剤DL,
ヤシマラブサイドスマチオン微粒剤F, ユニテクト, ラービン粉剤 3DL,
ロンパー乳剤, 永光サンシールド水和剤, 三共ヒノバッサ粉剤DL,
石原ブルーク水和剤, 武田アブロードパダン粉剤DL, 武田オルトラン水和剤,
武田マイシンS

農薬の登録失効は、同一成分の農薬においても販売メーカー毎になりますので、ご注意願います。

イチゴのうどんこ病について

イチゴうどんこ病は、果実、葉、果梗などイチゴの各部位に発生します。果実に発生すると商品価値がなくなり、多発生すると防除が困難となることから、イチゴの重要病害となっています。

1. 発生生態

イチゴうどんこ病菌は、キュウリ、ピーマン、トマト等のうどんこ病菌とは種類が異なります。イチゴ以外の植物にはほとんど感染が認められないので、イチゴからイチゴへ伝染を繰り返すと考えられています。

曇雨天などで日照不足になると、胞子の形成が促進され、晴れた日の午後に胞子が多く飛散します。胞子の発芽適温は17~20℃と、他の作物のうどんこ病菌と比べてやや低く、発病適温は20℃前後です。多くの病原菌の胞子は、水滴がないと発芽できないのに対し、うどんこ病菌は、空気中の湿気でも発芽します。このため、50%程度の湿度でも発生しますが、高湿度であるほど多く発生します。

2. 近年及び今年の発生経過

当所の調査において、イチゴうどんこ病は、平成13年及び平成15年に苗及び本圃で多発生しました。例年、7~8月は高温によりうどんこ病の発生が一時停滞します。ところが、平成13年は8月の、平成15年は7~8月の平均気温が平年より低かったことから、育苗期である夏季に発生が多くなったと考えられます。本年は、夏季の気温は平年並で、育苗期の発生は多くありませんでした。しかし、10月上、下旬の降水量が多く、10月から11月上旬にかけて気温が平年より高く、ハウス内は平年よりも発生を助長する温度条件になったことから、10月の発生量は平年より多くなりました。11月下旬現在、発病葉率・発生地点率は平年並ですが、果実での発生は一部圃場で多くなっています(図1~4)。そのため、今後果実での発生を防ぐために十分な対策が必要です。

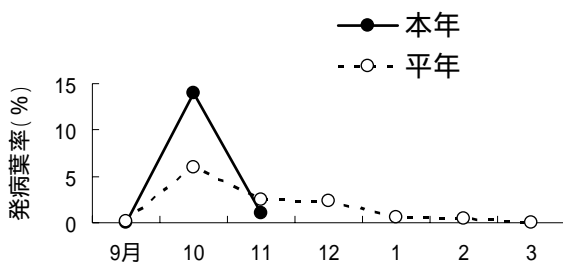


図1 発病葉率の推移

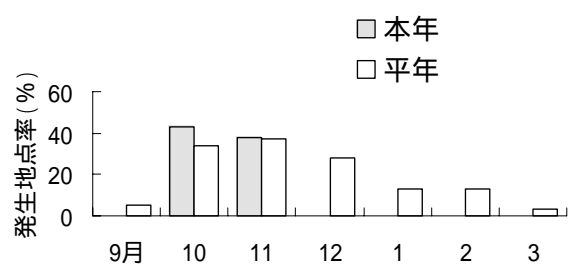


図2 葉での発生地点率

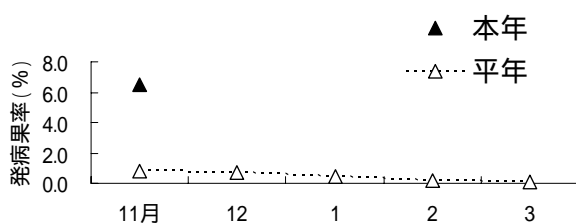


図3 発病果率の推移

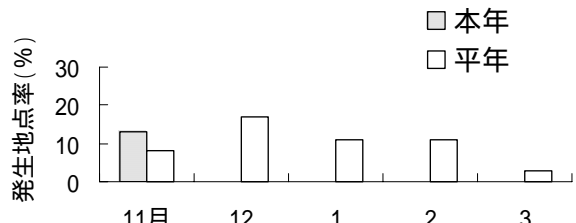


図4 果実での発生地点率

3. 防除対策

- 罹病した葉や果実などはハウス内に放置せず、ハウス外へ持ち出し、土中深く埋めてください。
- 耐性菌の出現を防ぐため、同系統薬剤の連続散布は行わないようにしましょう。また、薬剤は、十分な量で葉裏や葉柄までよく付着するように丁寧に散布しましょう。
- ミツバチ導入後は使用できる薬剤に限られるため、薬剤を選択する際はラベル等で確認してください。

・ 今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 11月25日から12月24日)

気象庁 (11月24日 発表)

< 向こう 1 か月の気温 , 降水量 , 日照時間の各階級の確率 (%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	20	30	50
降水量	関東甲信全域	20	40	40
日照時間	関東甲信全域	40	40	20

[概要]

天気は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

< 1 週目の予報 > 11月25日(土)から12月1日(金)

気温 関東甲信地方 高い確率 50%

< 2 週目の予報 > 12月2日(土)から12月8日(金)

気温 関東甲信地方 低い確率 40%

< 3 週目から 4 週目の予報 > 12月9日(土)から12月22日(金)

気温 関東甲信地方 高い確率 50%

・ テレホンサービス

下記の情報を 24 時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号 : 029 (226) 5321 , 6131

12 月上旬 施設野菜病害虫の発生現況と防除対策について

12 月下旬 ナシのアブラムシ類及びハダニ類の薬剤感受性について

1 月上旬 農薬の安全使用について